

平成 28 年大磯町議会

1 2 月定例会一般質問（1 2 月 7 日・8 日）

質問議員	質 問 事 項（ 1 日 目 ）	答 弁 者
1 8 番 清田 文雄議員 （ 50 分） 9:05～9:55	1. 今年度の防災訓練の総括と平成 29 年度の防災訓練計画について 今年も、4 月の熊本、10 月の鳥取の震災と日本各地で震災や、台風や豪雨等様々な災害が発生し甚大な被害が報告されている。このような災害に対する対策として、当町でも関係各機関を含めた住民参加の各種防災訓練が行われた。今年度の訓練の結果と平成 29 年度訓練計画について問う。 （1）8 月 21 日実施の大磯町総合防災訓練と 11 月 5 日実施の津波避難訓練について。 （2）避難所運営について。 （3）自主防災組織とボランティア団体との連携について。 （4）平成 29 年度訓練計画について。 2. 鳥獣対策（イノシシ）について 今年度のイノシシ捕獲頭数は、10 月末現在、昨年度年間捕獲頭数の倍の 130 頭あまりで、また農作物の被害も増大していると聞いている。何故、今年度この様に捕獲頭数が増えたのか。罾にかかり捕獲されるイノシシの頭数はその地域に生息する頭数の全体の一割にも満たないとの専門家の意見もある。12 月定例会でイノシシ等の捕獲手数料の補正予算が提出されたが、行政としても鳥獣対策として、講師を招き講習会の開催、イノシシの潜み場所となる藪などの伐採等、いろいろ対策を講じてきたのは分かるが、その効果は中々見えてこないのが現実である。農業被害を食い止め、営農意欲を損なうことのないような対策が是非とも必要と考える。 そこで下記の点について問う。 （1）現状の対策、被害の状況はどうか。 （2）対策としては、まず駆除する必要があるのではないか。	町 長 町 長

2 1 番 坂田よう子議員 (60 分) 10:15~11:15	1. 「総合計画後期基本計画」「人口ビジョン・総合戦略」における現状と展望を問う 町は、豊かな自然と歴史に恵まれた大磯町でみんながいきいきと健康に暮らすため「総合計画後期基本計画」と「人口ビジョン・総合戦略」を策定した。その主軸は「交流人口の増加と定住人口の安定化」いわゆる定住促進政策である。政策の実現に当たっては、町民、行政、企業などが協力しながら取組みを進めるとした。 町の現状や課題を的確に分析したうえで、政策に関する進行管理を如何に行っているか。また、展望を如何に捉えているか伺う。 (1) 「人口ビジョン・総合戦略」4つの戦略に対する進行管理について。 ①戦略1「大磯への新しいひとの流れをつくる」 地域資源を生かした観光の振興、大磯港みなとオアシス事業による交流の促進、自転車ネットワークの整備について。 ②戦略2「大磯で若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」 妊娠・出産・子育てに関する総合支援の推進、ワークライフバランスを支援する保育サービスの充実、放課後子ども健全育成への支援、時代の変化に対応した教育環境の整備について。 ③戦略3「大磯にしごとをつくり安心して働けるようにする」 地域産業ビジネスに対する創業支援の充実、地域雇用の場の整備と担い手の育成、持続可能な社会に向けた事業の推進について。 ④戦略4「大磯の地域が連帯しあい安全・安心な暮らしをつくる」 多世代による新たなコミュニティの創出、健康な暮らしのサポートの充実、地域防災体制の強化、生活環境の改善整備について。 (2) 町の今後の展開について。 ①人口減少と高齢化に対応したまちづくり。 ②子ども・子育てにやさしい環境のまちづくり。 ③地域資源を活用し、産業が活性化するまちづくり。 ④地域で安全・安心に暮らすことのできるまちづくり。	町 長
3 5 番 三澤 龍夫議員 (25 分) 11:35~12:00	1. 御船祭の船の展示について 大磯港みなとオアシス整備事業において、大磯港の姿が大きく変わろうとしている。その折に長年行われている御船祭のお船を展示するスペースを取ればどうか。町の考えを聞く。	町 長

4 7 番 二宮加寿子議員 (60 分) 13:00～14:00	1. 読書推進運動について 幼児から大人の読書推進運動の方針や考え方について伺う。 (1) 具体的な計画はあるか。 (2) 絵本の読み聞かせやお話し会等で本や人とのふれあいをひろげる取組みは。 (3) 読書通帳の活用等で読む楽しみを増やし、様々な本との出会いが出来る環境整備は。 2. 自転車事故防止活動について 以下のことについて伺う。 (1) 町の取組みは。 (2) 教育委員会の取組みは。 (3) 短時間で自転車のルールが学べる「チリリン・タイム」の教材活用は。 (4) 自転車交通安全講習「チリリン・スクール」の開催は。	町 長 教育長 町 長 教育長
5 1 3 番 渡辺 順子議員 (90 分) 14:20～15:50	1. 自治基本条例の見直しについて 大磯駅前自転車駐輪場の建設で自治基本条例の問題点が明らかになり、条例の見直しを行うために町民委員会が設置され1年近くが経過した。先般配布された町民委員会の中間とりまとめによれば、会議はこれまで4回開催され、事例として「駐輪場の建設」と「公共施設の再編成」をケーススタディとして検証したとの事であった。 そこで次の点について質問する。 (1) 自治基本条例の運用にかかる庁内アンケートの質問とその回答で明らかになった点は。 (2) 自治基本条例の位置づけについての意見は。 (3) 「駐輪場の建設」における住民参加についての課題は。 (4) 「公共施設の再編」における住民参加の問題点とは。 (5) 今後のスケジュールは。 2. 環境基本計画と地球温暖化対策実行計画について 本町では、自治体に義務づけられている地球温暖化対策実行計画が平成24年度で終わったままである。大磯町環境基本計画と整合性を図りつつ早急に温暖化対策実行計画を策定し実施すべきと考え、次の点について質問する。 (1) 平成25年に策定された環境基本計画の進捗と今後取り組む重点プロジェクトは何か。 (2) 平成24年度までの地球温暖化対策実行計画におけるCO2削減効果の実績と今後の目標は。 (3) 本町では、公共施設の電力購入先の変更で経済的な効果を挙げてきたが、さらに環境配慮契約を導入し温室効果ガスの抑制に取り組む考えは。	町 長 町 長

6 3 番 関 威國議員 (45 分) 16:10～16:55	1. 大磯運動公園の指定管理について 指定管理者制度は、多様化する住民ニーズにより効果的、効率的に対応するために、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減等を図ることを目的として、2003 年に創設された制度である。11 月の議会報告会で住民から大磯運動公園の草花や樹木の手入れが杜撰になっていると指摘された。 そこで、下記について問う。 (1) 指定管理者制度を導入した経緯は。 (2) 住民サービスの向上やコスト削減が図れたか。 (3) 草花や樹木は維持管理業務仕様書で管理されているか。 (4) 課題や問題点を契約にどの様に活かしたか。	町 長
---	---	------------

質問議員	質 問 事 項 (2 日 目)	答弁者
7 2 番 竹内恵美子議員 (60 分) 9:00～10:00	1. 農政懇談会における意見や課題について 町は本年5月から農政懇談会を、町長、職員、区長と農業者で、農業に関する現状把握のために意見交換の場として実施した。農地のある地区、西久保、虫窪、生沢、寺坂、西小磯東、黒岩、国府新宿、馬場、西小磯西、中丸地区等暑い時期に回った。その中の意見で、農業者の行動意欲を奪っている原因として、特に鳥獣被害がまっさきに挙げられた。また、農業の後継者不足、荒廃農地に関わる固定資産税等についての質問も出ていた。 町として、今後意見や課題をどのように進めていくのか。 2. 歯及び口腔の健康について 日本人の約70%に何らかの歯周病の症状が認められ、成人の80%が歯周病に罹患していると報告されている。歯周病は、歯を失うばかりでなく、動脈硬化や心臓病、糖尿病など、特に全身の病気にも大きく影響している。 また、子どもから高齢者までの世代にかかわらず歯及び口腔は「食べ物をかみ砕くこと」、「呼吸をすること」、「話すこと」、「表情を作ること」等重要な機能がある。 虫歯や歯周病を予防して、歯及び口腔の機能を維持するためには、常日頃のセルフケアや歯科医師などによる定期的な検診や指導がとても大切なことである。 先日の委員会でも報告があったが、町は、町民の健康づくりの根幹となる歯及び口腔について、今後どのように進めていくのか。 (1) 世代ごとの歯と口腔の取り組みは。 (2) 「おあしす24健康おいぞ」での取り組みは。 (3) 町が把握している歯及び口腔の課題と今後の取り組みは。	町 長 町 長

8 15 番 柴崎 茂議員 (90 分) 10:20～11:50	1. 大磯町行政組織の中で地方公務員法違反はないか 大磯町理事者、職員並びに公立学校長に大磯町情報公開条例違反や虚偽公文書作成など地方公務員にあるまじき行状はないか。 2. 業者に利益供与はないか 大磯町並びに教育委員会の関係部署と下記 3 業者との契約に際し、日本の商慣行に著しく沿わない取引はないか。 (1) 新明和工業(株) 兵庫県宝塚市新明和町 1 番 1 号 取締役社長 大西 良弘 (2) エンゼルフーズ(株) 東京都北区豊島 8-1-1 代表取締役社長 古賀 義将 (3) 近畿日本ツーリスト(株) 東京都千代田区東神田 1-7-8 ユニゾ東神田 1 丁目ビル 代表取締役社長 田ヶ原 聡 3. 栗原副町長は特定の者に便宜をはかっているか 中崎町長にとって栗原匡賢副町長は、どのように役立ち、大磯町民に貢献しているか。	町 長 町 長 教育長 町 長
9 6 番 奥津 勝子議員 (50 分) 13:00～13:50	1. 乗合タクシー運行の現状と課題について 平成 28 年 4 月より、赤坂台地域を中心に実証運行という形で開始された乗合タクシーは平成 29 年 4 月より本格的に進むこととなった。 次の事について問う。 (1) 運行条件や運行方法の見直しは。 (2) 駐車場の見直しは。 (3) 広域的に進める方向は。 2. 婚活、新婚支援への町の対応について 政府は 10 月に結婚を希望する男女が出会いを求めて行う「婚活」への支援について、これまで地方自治体の事業に限っていた対象を、企業や団体が実施する取り組みにまで広げる方針を発表した。 また、夫婦合計で年間所得 300 万円未満の新婚世帯を対象に結婚に伴う住居費や引っ越し費用に対して国と自治体で最大 18 万円を交付する事業も継続する。 そのことについて問う。 (1) 町も入って数年前行った婚活状況と新婚支援への実績は。 (2) 町民からの要望の声を掌握しているか。 (3) 今後考えていく対応は。	町 長 町 長

